

# 第 338 回 月例会議事録

安全技術応用研究会

承認

確認

企画運営委員長

企画運営委員

西山

保科

◎ 日時 2021年11月17日（金）13時00分～16時15分

◎ 場所 リモート開催（Zoom）

◎ 出席者 30名（個人会員？名、企業・団体会員？法人？名）

## 1. 企画運営委員長 挨拶

13:00～13:10

主な内容：ホームページに募集案内を掲載する予定であるが、オンラインミーティング（既存機械の安全化、MBSEの普及会）への参加をお願いしたい。

12月18日（土）に長岡技術科学大学・安全安心研究センター主催の講演会が、東京で開催される。リモート開催で人数制限はなく、参加をお願いしたい。

## 2. 講演1「会員企業のリスクアセスメント活動の紹介」

13:10～14:00 村田機械(株) 今枝幸博氏

村田機械は繊維機械から創業し、京都市に本社、国内に6カ所、海外に1カ所の製造拠点をもち、ロジスティクスシステム・FAシステム・クリーンFA・工作機械・シートメタル加工機・繊維機械・情報機器をラインアップする多角的な企業である。

本日は、機械メーカーとしてのリスクアセスメントの取り組みを紹介する。製品分野が広く、海外向けも多いため、製品群ごとに事業部制を採用し、各製品群に要求されている国際規格や海外法令に合わせて対応している。

### 意見交換

出荷後の対応、リスクアセスメントの統括、リスクアセスメントシートのデータベース化と再利用、事業部別の運用に対するマネジメントリスクと経営者の関与、リスクアセスメントのスキル、経営者の教育、などについて意見交換を行った。

## 3. 講演2「協働ロボット—安全規格・リスクアセスメントと今後の課題と展望」

14:15～16:10 エステック ラボ 大西正紀氏

労働力不足の時代の要請から、人と同じ空間で稼働できる協働ロボットが脚光を浴びている。協働ロボットの国際規格（ガイドライン）はあるが、ISO 10218-2 ロボット・インテグレーションの要求が、設計において基本的に必要である。しかし、実際に稼働している協働ロボットの中には、法令や規格の要求を満たさないものもあり、適用方法を確定する前に、ロボットだけ先行導入している企業もある。本日は、協働ロボットに関わる国際規格を説明し、適用のための制限や妥当性確認などを紹介する。

### 意見交換

接触感知と保護停止、停止状態のリスクアセスメント、80W以下ロボットとサービスロボットの安全性、ロボットの安全確認型、監視、などについて意見交換した。

## 4. その他

- ・「仕組みを用いた安全確認型による既存設備の安全化」と「MBSE の効果検証と普及化」のオンラインミーティングへの参加申込を、あらためてお願いします。
- ・会員からの意見や助言を活用するため、アンケートへの協力をお願いします。
- ・次回 339 回月例会は、12 月 17 日（金）13 時～16 時 30 分にリモートで開催する。

### 月例会説明資料：会員専用ページに掲載

資料番号	資料名
338-3-1	協働ロボット（続編）2021.1119

以上